

風の会10月山行 荒船山(1422m)

今月は群馬県西上州の荒船山です。航空母艦を連想させる山容はどこから見ても目に飛び込んでくる、一度は登りたくなる山の一つです。

今回は18名の参加があり、当会としては久しぶりに大人数の開催となります。

JR高崎駅集合で、ここから上信電鉄に乗り換えです。一日全線フリー乗車券をゲットし420円引き、得した気分になります。電車は2両編成、世界遺産・富岡製糸所を通り約一時間で下仁田駅に到着です。ここからタクシーで内山峠へ向かいます。途中3回程景観の良い所で止めてもらい、荒船山全体を眺めつつ、峠に着きます。

準備運動を終え、身支度を整え、さあこれから登山開始です。

適度に変化のあるコースを一時間進みます。私がトップを歩いていたのですが、何故か私の後は女性会員ばかり。紅葉が赤、黄、緑もまじり、素晴らしい色の競演です。私もおもわず、後を振り返り、綺麗、綺麗と連発です。後続の女性の頭上にながれる綺麗と言葉は最高の癒しになった様です。一杯水から岩、くさりのある登りになります。女性達はおもしろいね、と喋って登っていきます。どうも女性は難路の方が力が湧くらしいのです。やがて30分位で壘(とも)岩展望台に到着です。眺望は素晴らしく、浅間山がひととき大きく目の前にあり、時々噴煙も見えます。ここで昼食です。さて最高峰の行(経)塚山をめざします。道は平坦な広い、若い人なら手をつないで歩きたくなるようなプロムナード・コースですが、我々にはあまり関係ない話です。

最後に10分の登りで行塚山山頂です。木々が展望を邪魔していますが、合間に異様な西上州の山々が紅葉・黄葉のなかに見られます。ひとやすみし、集合写真(人によっては婚活・終活写真)を撮り、一気に壘岩に戻ります。

壘岩で記念撮影ですが、冷たい強い風に吹き飛ばされそうになります。眼下は200m垂直に切れ落ちた絶壁で転落危険の注意もあります。皆、最高の笑顔をしているのですが、寒さ故か顔はひきつりはじめ、シャッターがおける時間も待ちどうしい感じです。

これから相沢へ一気の下りです。壘岩を回り込み、はっきりしない落ち葉の踏み跡のような登山道を下ります。途中道標もなく、かなり手入れの悪い、荒れているように感じました。以前にも何回か歩いているのですが道が違っているのではないかと思っただけです。相沢からタクシーで下仁田へ、そして高崎へ。

高崎での反省会は参加者の半数が参加しました。なんだか酒飲みばかりです。会場が居酒屋だったからでしょうか？今年一番の大盛り上がりということで、皆満足して帰路についたのです。

27年10月25日 伊藤

